



〈雑録〉純理論派経済學ノ立脚點ト其限界

山口, 正太郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 25(4):631-636

(Issue Date)

1918-10

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052948>



純論理派經濟學ノ立脚

點ト其限界

法學士 山口正太郎

我々が直覺ノ雜多ヲ統一シタ時、對象ヲ認識シ (wir erkennen den Gegenstand, wenn wir in den Mannigfaltigen der Anschauung synthetische Einheit bewirkt haben) 而シテ直覺ノ雜多ガ統一セラレタルモノガ對象チアル (Objekt ist das, in dessen Begriff das Mannigfaltige einer gegebenen Anschauung vereinigt ist) ト云フカントノ立言ニ基イテ (註) リツカントハ對象ヲシテ對象タラシムル其根據ヲ純形式トシテノ超越的價值 (transzender Wert) トシ之ニ對シテ質料ヲ認メテ此形式ト此質料トノ結合ニヨツテ存

在界ガ成立スルモノトスルノデアル。勿論此質料ナルモノハ意識一般 (Bewusstsein überhaupt) 以外ニ物如 (Dinge an sich) ナル不可認識の本體ヲ認メタカントノ立場ヲ固守スルノデハナイ、斯様ナ超越的存在 (transzendentes Sein) ヲ假定スルノハ嚴格ナ批判哲學ノ許スベキ處デハナイ認識論ガ純粹ニ且ツ嚴密ニ成立スルガタメニハカ、ル形而上學的遺物ヲ棄テナケレバナラス。認識論ノ問題トシテハ純形式タル價值ノ研究ニアル、認識論ニ於テ論究セラル、質料ナルモノハ低度ノ形式ノ既ニ加ハツタモノデアル。與ヘラレタルモノハ所與ノ範疇 (Kategorie der Geschehnisse) ニ依ツテ構成セラレタモノデアツテ更ニ構成的範疇 (Konstitutive Kategorien) ニモツテ客觀的實在トナルノデアル。

(註) 拙稿經濟學ニ於ケル論理主義ト心理主義、國民經濟雜誌本年一月號參照。

此質料ヲ一方ニ認メルト共ニ他方ニ純形式トシテノ價值ヲ認メ、二者ノ結合ニヨツテ客觀的

實在界ヲ構成スルノデアルガ、此客觀的存在ノ世界ヲ認メルト云フ事ハ其前提トシテ必然的ニ存在ヲ超越シタ價值ヲ認メネバナラス。此價值ヲ離レテハ客觀的實在界ハ構成セラル、コト無ク、又質料ノミナレバ其ハ何等ノ意味ヲ有セナイモノデアル。價值ハ存在ノ世界ヲ超越シタ意味ノ世界ヲ云フノデアツテ、存在ヲシテ存在タラシメ、對象ヲシテ對象タラシムル根據トシテ全ク存在界ヲ超越シタモノデアル。一方價值ニ對立シタ質料ハ亦存在界以外ノモノデアツテ、價值ト關係スル事ニヨツテ初メテ存在界ヲ顯現スルノデアル。然シリツカトハ此質料ヲ非合理的ナモノトシテ、認識論ヨリ排除セントスルノデアル。即チ認識ノ客觀性ノ根據ハ、唯々此超越的價值ニ於テ認メラレ、質料ノ世界ハ認識論ノ研究ヨリ驅逐セラレルノデアル。

純論理派經濟學ノ主張、即チ經濟學ガ成立スルタメニハ根本的基本概念ヲ必要トシ、此基礎

概念ニヨツテ所與ノ質料ガ純化サレ、構成セラレテ以テ經濟學ヲ形成スベシトナス主張ハ其最モ純粹ナル形ヲ採ルニ於テハカント認識論ヲ更ニ純化セシ上掲ノリツカトノ超越的價值ノ世界ニ其根據ヲ置クコト、ナルノデアル。

此超越的價值ノ世界ハ存在界ヲ超越シタモノデアルカラ、認識ノ普遍必然性ヲ確保スル根據トナル譯デアルガ、然ラバ茲ニ問題ノ起ルノハ如何ニシテ價值ノ世界ト存在ノ世界トガ結合スルカ、如何ニシテ超越的ノモノガ、存在界ト交渉スルカト云フ事デアル。リツカトハ此難問ヲ解決シヨウトハシナイ。否解決ハ出來ナイト云フテイル。之ハリツカトノ如ク二元論ヲ採ル者ノ當然ノ歸結デアルガ、吾人ノ理性ハ何等カノ統一ヲ欲シテ止マナイノガ常デアル。我々ハ價值ヲリツカトノ如ク靜的ニ考ヘナイデ反對ニ動的ナ概念トシテ價值ト質料トノ關係ヲ考ヘテ見ラレナイデアロウカ。

純論理派經濟學ガ其純粹性ヲ保存セントスル
限り、其基礎トシテリツカートノ云フ純粹ナル
價值ノ世界ヲ先ツ認メネバナラス。而シテ其ガ
純粹ナル限り非合理的ナル質料ノ世界ハ之ヲ拋
棄セネバナラス。然ラズバ其純論理主義經濟學
ハ甚ダ不徹底ナ基礎ニ立ツコト、ナリ、遂ニハ
物如 (Ding an sich) ヲ認ムルカント迄立チ歸ラ
ネバナラス。

今更ニ翻テ他ノ方面ニ於テ純論理派經濟學ノ
基礎トモナルベキ論理主義認識論ハナイデアロ
ウカ。吾人ハ其生涯ヲ熱烈ナル眞理ノ追求ニ捧
ゲタ壞國ノ哲學者ボルツァノ (Bolzano) ヲ學ゲ
ルコトガ出來ル。

ボルツァノノ中心思想ハ客觀的眞理ニアル、
客觀トハ吾人ノ心理作用ヲ離レ且ツ又超越的實
在トモ別ナモノデアル。實在ヲモツ眞理ハ考ヘ
ラレタ眞理デアツテ眞理其モノデハナイ。又心
理作用ハ形式ニ過ギナイノデ、其内容トナルモ

ノガ眞理其モノデアル。吾人ノ心理作用デモナ
ク又實在デモ無イト云フ意味カラシテ、其ハ文
章ノ如キモノデ、或者ヲ如實ニ言ヒ表ハス命題
ノ一種デ、之ガ或ル人ニヨツテ思惟セラレヨウ
トセラレナイトニ關セナイ。或ル人ニヨツテ言
ヒ表ハサレルト否トニモ關係ハナイ。眞理其モ
ノハ如何ナル實在性ヲモ有タナイ、眞理ハ時間
ニモ空間ニモ拘束セラレナイ、眞理ハ如何ナル
人、如何ナル時ニ考ヘラレテモ常ニ同一ナモノ
デアル。眞理ノ存在ヲ疑フ人ハ疑フト云フコト
ガ一ノ判斷デアル限り、何等カノ意味ニ於テ眞
理ノ捕捉ヲ前提トセネバナラス。

カントガ智識ノ客觀性ヲ主觀ノ統一作用ニ求
メタモノトスレバ、ボルツァノハ純粹ナル客觀
的眞理ニ之ヲ求メタト云フコトガ出來ル。此客
觀的眞理ヲ高調スル點ヨリシテ、彼ハ純論理主
義ノ鼻祖ト呼バレルノデアルガ、此眞理其モノ
ハ何等カノ實在界ト交渉スルニアラザレバ、吾

人ニヨツテ捕捉サル、コトハ出來ナイ。實在ニ
 化シタ眞理ハ考ヘラレタ眞理デ眞理其モノデハ
 ナイ。此間ノ矛盾ハリツカートノ場合即チ價值
 ト存在トノ如ク認識論ノ難問トシテ何等カノ解
 決ヲ要求スルモノデアル。

實在トナツタ眞理ハ眞理ソノモノデナイ、然
 モ實在化スルニアラザレバ吾人トハ何等ノ交渉
 ナキモノトスレバ、眞理トハ吾人ノ認識シ得ベ
 カラザルモノトナル。リツカートノ價值モ超越
 的ナモノデ、存在界ト別個ノ地位ヲ占ムル限リ
 ボルツアノノ眞理其モノト同ジ様ニ、ソノ實在
 界トノ關係ニ重大ナル解決ヲ要スベキ問題ヲ含
 ムコト、ナル。

此問題ノ解決ニ就キ何等カノ提言ヲナスニ非
 ズバ、論理主義ハ此問題ニ當テ破滅ノ運命ヲ有
 スト批難セラレテモ仕方ガナイ。

カ、ル論理主義哲學ニ基礎ヲ置ケル論理派經濟
 學ハ其基礎ノ瓦解ト共ニ動搖ヲ感ゼザルヲ得ナ

イ。然ラバ次ニ此問題ハ何等カノ解決ヲ得ナイ
 モノデアロウカ、ト云フ吾人ノ統一ヲ求ムル理
 性ノ叫聲ガ先ツ迸リ出ルノデアル。

リツカートノ様ニ價值ヲ靜的ニ考ヘテ、全然
 存在ノ世界ヲ超越シタモノト見ル限リ價值ト存
 在トハ永久結合セラレナイ。吾人ハマールブル
 ン派 (Marburger Schule) ニ赴クコトニヨツテ此
 難點解決ノ曙光ヲ發見シ得ルト思フ。

カントニヨルト吾人ノ智識ハ、(一)對象ガ依テ
 以テ考ヘラル、處ノ概念 (der Begriff, dadurch
 ein Gegenstand gedacht wird) (二)對象ガ依テ以
 テ與ヘラル、處ノ直覺 (Anschauung, dadurch er
 gegeben wird) ニヨツテ成立スル。前者ノミデ
 アルト空ナモノデ智識ハ成立セナイ、必ズ二者
 ノ結合ヲ要スル。後者 (Anschauung) ニハ純粹
 ナモノ (rein) ト經驗的 (empirisch) トアツテ reine
 Anschauung ト Begriff トノ結合ニヨツテ數學
 ガ出來、empirische Anschauung ト Begriff トノ

結合ニヨツテ所謂經驗界が出來ル。此二者ノ結合ガ智識成立ニ不可缺ノモノデアツテ其中ニモ前者即チ Begriff ヲ認メルコトガカントノ主要ナル主張デアル。

マールブルヒ派ノ主將コーエン (Cohen) ハカントノ此考ヲ徹底的ニ考ヘテ純化シタノデアル所與 (das Gegebene) 即チ吾人ノ思惟ニ外部ヨリ與ヘラレタルモノトハ、思惟其モノ、作り出シタモノデアル、思惟ニヨツテ要求セラレタモノ (Das vom Denken Geforderte) デアル、思惟ニハ自ラが見出シ得ルモノノミガ與ヘラル、(Dem Denken darf nur dasjenige als Gegebene gelten, was es selbst aufzufinden vermag) デアル。

思惟ニ對シテ外部カラ何物カラ附加シ内容ヲ思惟以外ニ仰グノハ、思惟ノ自發性ヲ毀ツコトニナル。思惟ガ生産シ得ル内容ガ其根源ヲ思惟其モノ、中ニ置クト云フコトガ、思惟ノ最根本的ナ要求デアル。斯ク思惟ガ自己ノ中ニ根源ヲ

有チ、自己ノ中ニ歸ラウト努メルユトハ、同時ニ對象ニ向ツテ無限ニ進出スルコトデアツテ、根源 (Ursprung) ニ歸ルト云フコト、對象 (Gegenstand) ニ向ツテ進ムト云フ事ハ畢竟同一ニ歸スル。

コーエンハ斯様ニリツカントノ所謂價值ノ世界ヲ動的ニ解釋シ、質料ト價值、内容ト思惟トヲ全然別種ノモノトスル觀方ニ反對シ、兩者ハ相依關係 (Korrelation) ニ立ツモノデ、價值ト存在トハ調和スベカラザル兩極端デハ無クテ、嚴密ア相依關係ニ基クコトハ、圓ニ於ケル zentrale Richtung ト periphereische Richtung トノ關係ノ如クデアル。

コーエンニ於テハ、思惟ハ自己自身ノ中カラ内容ヲ作り出ス die schöpferische Kraft デアル。コレハ存在界ニ屬スルモノデナイガ、存在界ノ根源トナリ存在界ヲ作り出スモノデアアル。一方ニ於テハ無限ニ根源ニ溯ラウトシ一方ニ於テハ

無限ニ對象ヲ追求スル。無限ニ溯ル事ニヨツテ
Voraussetzungsgelose Geltungニ到達セネバナラス
ガ此ガ認識ノ客觀性ノ基ク最後ノ根柢ト云フコ
トニナル根柢デアルガ故ニ更ニ其根柢トナルモ
ノヲ有シテハナラス。全ク無假定的ノモノデア
ルガ故ニ價值ノ世界デアル。然モリツカートノ
如キ隔離シタル價值ニハアラズシテ質料ト相俟
テ初メテ其意義ヲ有スベキ言ヲ換エテ云ヘバ質
料トノ相依關係ニ立ツ時ニノミ存シ得ベキ價值
デアル。質料ヲ考ヘナイデハ存立シ得ナイ價值
デアル。ダカラ初メカラ完成サレタモノトシテ

獨立的ニ存立スルモノデハ無クテ質料ヲ俟ツテ
初メテ其意義ヲ有スルノデアル。各獨異ノ方向
ニ進ムモノガ互ニ他ヲ俟ツテ初メテ其意義ヲ有
スル處ニコーエンノ深キ思索ガアルノデアル。
吾人ガ經驗ト云フコトヲ理論的ニ構成スルニ
ハ、根本的假定トシテ統一其モノヲ豫想セナケ
レバナラス。然モ其統一ナルモノハ、他ノ何物

ニヨツテモ侵サレザル純粹ナルモノタルコトヲ
要スルガ、一面質料ノ世界タル雜多(Mannig-
faltig)ノ方向ヲ離レテハ其意味ヲ有シナイ。此
雜多ノ質料ト相離ルベカラザル相依關係ニ立ツ
コトニ其認識論ノ主眼點ヲ置ク處ニマールブル
ヒ派ノ特長ガアル。之ニヨツテリツカートノ難
點トスル價值ノ世界ト存在ノ世界トノ交渉ガ解
決セラレ得ルト思フ。

經濟學ガ何等カノ基礎概念ヲ要シ(註)其基礎
概念ガ所與ノ素材ヲ純化シ、構成シ、茲ニ一科
ノ學ヲ形成スルトスルナラバ、其場合ノ基礎概
念ハ素材ヲ俟ツテ初メテ其意義ヲ生ズルモノデ
アツテ、所謂天降リ的ニ先ヅ基礎概念ヲ立テ以
テ經濟學ヲ根本的ニ一新セントスル某經濟學者
ノ如キハ、深キ認識論上ノ思索ヲ缺ケルモノト
云フベキデアル。

(註) 拙稿經濟生活ノ意義商業及經濟研究、本年四月號參照